

NY マーケットレポート (2017 年 10 月 31 日)

NY 市場では、序盤に発表されたシカゴ購買部協会景気指数が 2011 年 3 月以来の高水準となり、そのあとに発表された米消費者信頼感指数が 2000 年 12 月以来の高水準となるなど、いずれも市場予想を大きく上回る結果となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。その後、トランプ米大統領が、税制改革はクリスマスまでの実施が目標と発言したことを受けて、ドルは一段の上昇となった。

ただ、主要中銀の金融政策決定会合や次期 FRB 議長指名を控えて様子見ムードも強まっており、終盤まで小動きの展開が続いた。一方、翌日に控えた英中銀の金融政策発表では、約 10 年ぶりの利上げが見込まれていることを材料に、ポンドは主要通貨に対して堅調な動きが続いた。

2017年 10月31日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.09	113.28	112.96
EUR/JPY	131.68	131.89	131.51
GBP/JPY	149.46	149.57	149.20
AUD/JPY	86.87	87.08	86.79
EUR/USD	1.1644	1.1653	1.1625

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	22011.61	-0.06
ハンセン指数	28245.54	-90.65
上海総合	3393.34	+3.00
豪ASX200	5909.02	-10.06
インドSENSEX	33213.13	-53.03

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	7493.08	+5.27
仏CAC40	5503.29	+9.66
独DAX	休 場	

*ドイツ市場は宗教改革記念祭のため休場

米国主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	23377.24	+28.50
S&P500	2575.26	+2.43
NASDAQ	6727.67	+28.70

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.68	113.73	113.28
EUR/JPY	132.43	132.56	131.85
GBP/JPY	151.04	151.06	149.69
AUD/JPY	87.00	87.16	86.70
EUR/USD	1.1650	1.1661	1.1627

南北米主要株価	終値	前日比
トロント総合	16025.59	+22.81
ボルサ指数	48625.53	-229.74
ボベスパ指数	74308.50	-491.84

*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1270.50	-7.20
NY 原油	54.38	+0.23

11/1 経済指標スケジュール

09:01 【英国】10月BRC店頭価格指数
 10:45 【中国】10月財新メディア製造業PMI
 14:00 【日本】10月自動車販売台数
 16:00 【トルコ】10月製造業PMI
 16:00 【英国】10月ネーションワイド住宅価格
 17:30 ~ 18:30
 【スイス】【南アフリカ】【英国】10月製造業PMI
 【南アフリカ】10月Naamsa自動車販売(時間不確定)
 20:00 【米国】MBA住宅ローン申請指数
 21:15 【米国】10月ADP雇用統計
 22:45 【米国】10月マークイット米国製造業PMI
 23:00 【米国】10月ISM製造業景況指数
 23:00 【米国】9月建設支出
 23:30 【米国】EIA原油在庫
 01:00 【ニュージーランド】10月QV住宅価格
 03:00 【米国】FOMC政策金利
 03:00 【メキシコ】IMEF製造業指数・非製造業指数

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	1.60%	1.57%
3年債	1.73%	1.69%
5年債	2.01%	1.99%
7年債	2.23%	2.21%
10年債	2.38%	2.37%
30年債	2.87%	2.88%

ドイツ10年債	0.36%	0.37%
英国 10年債	1.33%	1.34%

11/1 主要会議・講演・その他予定

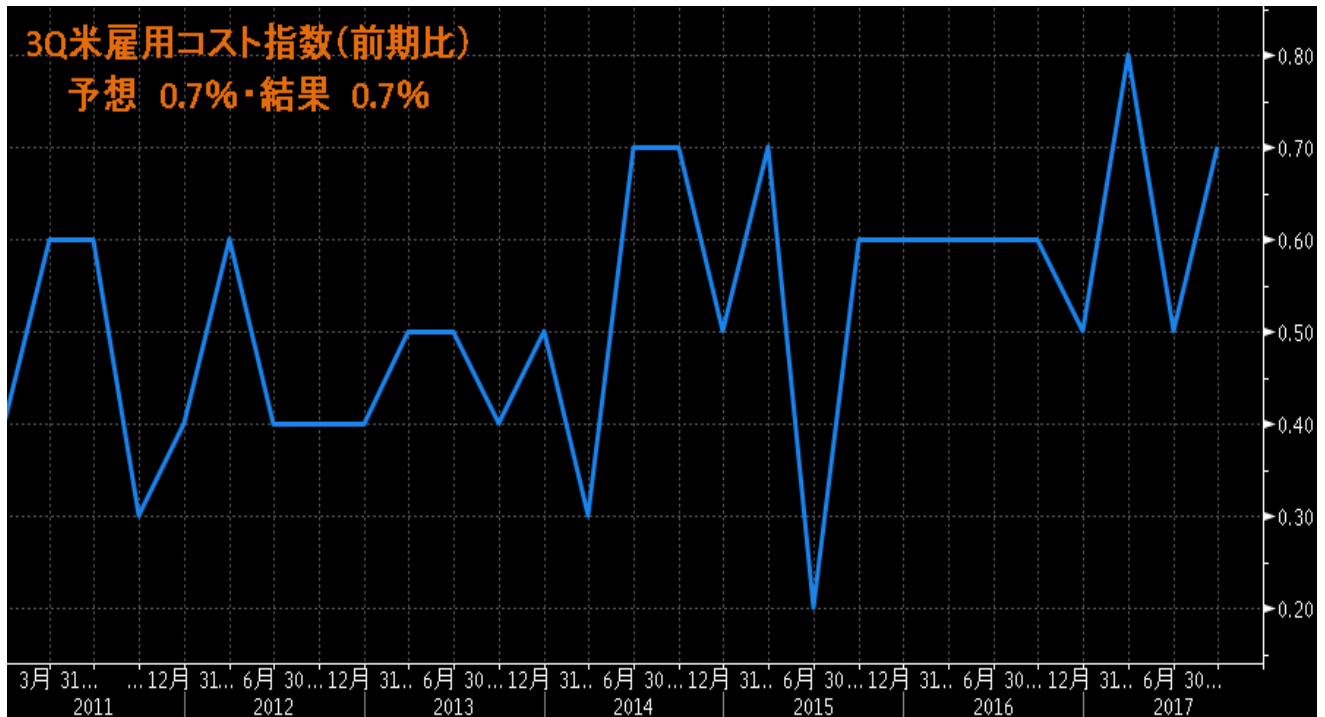
・英MPC (金融政策委員会 ~2日)

NY 市場レポート

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

3Q 米雇用コスト指数（前期比） 0.7%（予想 0.7%・前回 0.5%）



出所：Bloomberg

指標結果データ

◀ 米雇用コスト指数（前期比） ▶

9月・6月・3月・12月

非軍人労働者

報酬・・・0.7・・・0.5・・・0.8・・・0.5

賃金・給与・・・0.7・・・0.5・・・0.8・・・0.5

諸手当・・・0.8・・・0.6・・・0.7・・・0.5

民間部門

報酬・・・0.8・・・0.5・・・0.8・・・0.5

賃金・給与・・・0.7・・・0.5・・・0.9・・・0.5

諸手当・・・0.7・・・0.6・・・0.6・・・0.4

政府部門

報酬・・・0.6・・・0.5・・・0.6・・・0.6

賃金・給与・・・0.5・・・0.4・・・0.6・・・0.5

諸手当・・・0.8・・・0.7・・・0.8・・・0.7

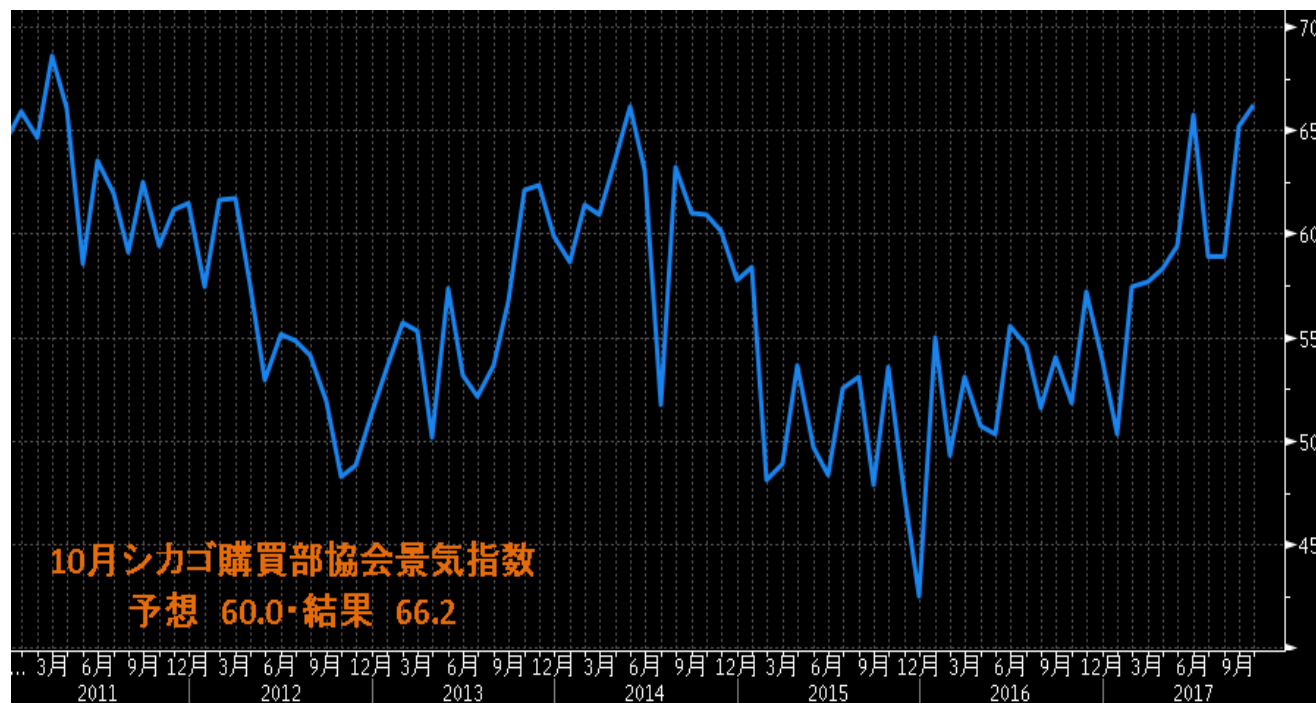
7-9 月期の米雇用コスト指数は、前期比で+0.7%となり、上昇率は前期から 0.2 ポイント拡大し、2 期ぶりの拡大となった。

賃金・給与、諸手当とも伸びたことが影響した。前年同月比では+2.5%となり、前期から伸び率を 0.1 ポイント拡大し、2015 年 1-3 月期以来の上昇率となった。所得の柱となる賃金・給与は+0.7%、医療保険などの諸手当は+0.8%となった。民間企業の雇用コスト指数は、前期比+0.8%、前年同期比では+2.5%。政府部門の雇用コスト指数は、前期比+0.6%、前年同期比は+2.4%となった。

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

10月シカゴ購買部協会景気指数 66.2 (予想 60.0・前回 65.2)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀シカゴ購買部協会景気指数▶

10月・・9月・・8月・・7月・・6月・・5月

景気指数・・・66.2・・65.2・・58.9・・58.9・・65.7・・59.4

10月の米シカゴ購買部協会景気指数は、市場予想を大きく上回る66.2となり、2011年3月以来の高水準となった。生産、新規受注、受注残の上昇が全体の水準を押し上げる要因となった。特に、生産は2014年8月以来、受注残は1974年2月以来の高水準をつけた。ただ、雇用指数、支払価格が低下となった。また、第4四半期に企業活動の縮小を見込む向きは調査に応じた企業の12%にとどまった。

◀欧州のポイント▶

EU統計局が発表した第3四半期GDP速報値は、前期比+0.6%、前年比+2.5%となり、市場予想を上回った。また、同時に発表された9月の失業率は、8月の9.0%から8.9%に低下し、2009年1月以来ほぼ9年ぶりの水準に低下した。ただ10月の消費者物価指数は、前年比+1.4%と8月と9月の+1.5%から低下した。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米消費者信頼感指数 125.9 (予想 121.5・前回 120.6)
 前回発表の119.8から120.6に修正



経済指標データ

◀消費者信頼感指数▶

10月・9月・8月・7月・6月
 信頼感指数・・・125.9・120.6・120.4・120.0・117.3
 現況指数・・・151.1・146.9・148.4・145.4・143.9
 期待指数・・・109.1・103.0・101.7・103.0・99.6

【現況指数】

業況

良好・・・34.5・33.4・34.5・32.5・30.6
 悪化・・・13.5・13.2・13.2・13.5・13.4
 普通・・・52.0・53.4・52.3・54.0・56.0

【雇用】

十分・・・36.3・32.7・34.4・33.2・32.0
 不十分・・・46.2・49.3・47.2・48.1・49.6
 困難・・・17.5・18.0・18.4・18.7・18.4

10月の米消費者信頼感指数は、市場予想を上回る125.9（1985年=100）となり、改定値の120.6から5.3ポイント上昇し、2000年12月以来、16年10ヵ月ぶりの高水準となった。現況指数は151.1（前月146.9）、先行き指数は109.1（103.0）といずれも前月から上昇した。雇用関連では、現状で「職が豊富」との回答は36.3%（前月32.7%）、「就職が困難」は17.5%（18.0%）、向こう半年では「職が増える」との回答は18.9%（19.2%）、「職が減る」が11.8%（13.0%）。向こう1年間のインフレ見通しは4.7%（4.9%）となった。

0 : 50

◀ 要人発言 ▶

トランプ米大統領

- ・「下院は感謝祭までに税制改革法案を通過させる必要がある」
- ・「税制改革、クリスマスまでの実施が目標」
- ・「法人税引き下げの段階的導入は検討していない」

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 7.20 ドル安の 1 オンス=1270.50 ドルで取引を終了した。

NY 金は、堅調な米経済指標を受けてドルが主要通貨に対して上昇したことから、ドルの代替資産とされる金の売りが広がった。また、米 FOMC の結果発表を控えて、積極的な買いを手控えるムードもあった。

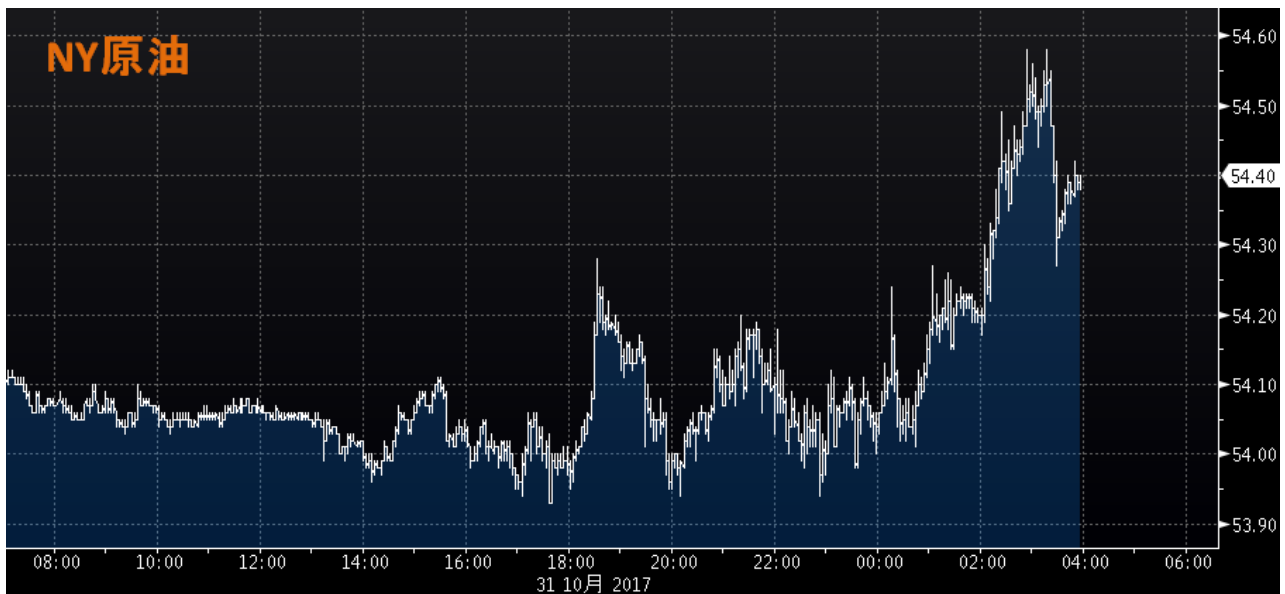


出所：Bloomberg

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.23 ドル高の 1 バレル=54.38 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、主要産油国による原油の協調減産の延長期待が引き続き支援材料となった。一方、最近の原油価格の上昇が米国のシェールオイルの増産に繋がるとの警戒感も出ており、やや上値が抑えられた。終値ベースでは、2月下旬以来、約 8 カ月ぶりの高値となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、2日に予定される米大手通信の決算発表や、3日の10月米雇用統計を控えて様子見ムードも強まっており、主要株価は序盤から方向感に欠ける限定的な動きとなった。ただ、米経済指標が良好な結果が続いたこともあり、主要株価は底固い動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の景況指数や消費者信頼感指数がいずれも市場予想を上回る結果となったことや、欧米の株価が上昇したこともあり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、米 FOMC の結果発表などを控えて様子見ムードも強まりつつあり、終盤には小動きの展開が続いた。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。